



保育所だより



令和7年11月号

中部保育所

TEL 63-3221 090-5693-1233

11月の予定

- 3日(月) (祝)文化の日【休所】
- 4日(火) 平田中校区一斉あいさつ運動
" 保育所開放日(リズム遊び)
- 4日(火)～7日(金) 身体測定週
- 5日(水) ◆一日保育士⑧
- 6日(木) なかよしデー(散歩)
- 7日(金) さんま焼き・焼き芋会、巡回相談
- 10日(月)～26日(水) 4歳児面談
- 13日(木) 防火指導・避難訓練(平田消防署より来所)
- 14日(金) ひもおとし会・誕生会
- 17日(月) 安全の日
- 18日(火) ◆一日保育士⑨
- 19日(水) 弁当の日、クッキング(いもようかん):うさぎ組
- 20日(木) 5歳児2施設(中部・みなみ)交流保育(於:当所)
" 集金日
- 24日(月) 振替休日【休所】
- 26日(水) クッキング(スイートポテト):きりん・ぱんだ組
- 28日(金) 布団持ち帰り日



ひよこ組
手押し車で
いっぱい歩くよ



ことり組
鉄棒にぶら
さがったよ

12月の主な予定

- 2日(火) ふれあいデー:もちつき会
- 13日(土) ◆発表会
- 30日(火)～1/4(土) 年末年始休所

◆のついている行事につきましては、後日お便りで詳しくお知らせします。



いす組
どんぐりや
まつぼっくりで
ごちそう作り



うさぎ組
天狗や獅子舞が
大ブーム!



きりん組
登り棒を
がんばったよ!



ぱんだ組
捕まえた虫を
観察中!

遠足の様子(10/17 愛宕山) きりん・ぱんだ・うさぎ組

気持ちの良い秋晴れのなか、愛宕山公園に遠足に行きました。遊具で遊んだりおいしいお弁当やおやつを食べたりして楽しい一日になりました。



お弁当が
おいしかったね!

木の実や葉っぱを
たくさん拾いました。



★お礼

所庭の草刈り・草取り～保護者様
きれいになった所庭で、気持ちよく運動会をすることができました。ありがとうございました。

★ご寄贈ありがとうございました

新米(きぬむすめ) 40kg～保護者様



令和8年度保育所入所受付について

来年度新たに入所を希望されるお子さんの入所申込受付が、12月1日(月)から開始されます。該当の方は、手続きが必要です。詳しくは、広報いづも(11月号)、出雲市役所ホームページをご覧ください。

職員研修のお知らせ

- ▽午前・△午後からの研修
- 6日△歯科保健従事者研修(オンライン)～角
- 7日△平田保育会新任研修②～川瀬
- 11日▽保育士定着化事業における定着化促進のための研修～片寄
- 11日△人材育成研修会～平野
- 13日～15日 応急手当普及員養成講習～原
- 17日 施設長研修会～竹内
- 20日▽久美地区人権・同和教育推進協議会視察研修会～竹内
- 21日△人権・同和教育研修会～長廻弥
- 27日 所長研修～竹内

【職員のお知らせ】

山根香保育士は、10月27日から産前休業に入りました。
山岡恵美子保育士がことり組の担任をいたします。



朝晩の冷え込みや木々のあざやかな色づきに、秋の深まりを感じる頃となりました。天気の良い日には秋晴れの空の下、子どもたちは広い所庭で虫取り網を持ちトンボやコオロギなどの虫を捕まえたり、どんぐりや落ち葉を集めてごちそう作りをしたりして遊んでいます。

先月は、運動会、遠足など子どもたちにとって待ち遠しい行事がたくさんありました。自分の力を出し切ったこと、がんばって最後まで歩いたことなど、日々の様々な体験の一つ一つが自信につながり、生き生きとした表情で過ごしていることをうれしく思います。

今月も引き続き秋の自然に親しみながら、散歩に出かけてしっかり歩いたり、自然物を使った制作活動をしたり、各年齢に応じた保育をすすめていきたいと思っています。

また、感染症が流行しやすい時期ですので、ご家庭でも手洗い・うがいを習慣づけ、予防に努めていただき、体調が悪い時は無理をせず、早めの休息と治療をお願いします。

保育目標～〇秋の自然に触れて遊ぼう

これからいよいよ秋が深まってきます。引き続き戸外に積極的に出かけ、木々の紅葉の様子や移り変わりをしたり、色々な色や形の葉っぱを集めたりして、秋の自然に触れて遊びに取り入れます。

〇表現遊びを楽しもう

日々の生活や遊びのなかから、年齢に応じた表現遊びを楽しんでいきます。子どもたちの豊かな発想と表現を大切に、一人一人の力が発揮できるようにしたいと思います。

生活目標～〇かばんや荷物を自分で持って登降所しよう(りす組以上)

先月からこの目標をあげたところ、親子で意識し自分で持とうとする様子が見られ、うれしく思いました。自分でしようとする気持ちを認め、少しずつ習慣になるようにしていきましょう。

〇薄着で過ごそう

日中は暖かい今の時期から、薄着の習慣をつけると皮膚が鍛えられ丈夫な身体になります。少々肌寒くても、動くとき身体の中から温まることを経験したいと思います。朝夕肌寒い時は、上着を一枚羽織るなどして調節をしましょう。

★芋ほり(10/23)の様子★

はやさめ会員の皆様や地域の方にお手伝いいただき、4・5歳児は天神花公園前の芋畑、2・3歳児は保育所裏の芋畑で芋掘りをしました。芋のきれいな紅色がチラッと顔を出すと大喜び!一生懸命に土をかき分け芋を掘り出しました。大きなさつま芋がたくさんありました。



「うんとこしょ、
どっこいしょ!」



こんな大きな
お芋があったよ!



子育てエール ことばのキャッチボール～対話的な言葉を大切に～

平田保育会では、各施設が保育カンファレンス(保育を公開し、意見交換をする)を行っています。今年も10月に4歳児ぱんだ組が『いろいろな物に興味を持って遊んでみよう～“やってみたい”が広がるように～』の年間テーマのもと保育公開をし、島根大学名誉教授の肥後先生から指導助言を受けたり意見交換をしたりして多くのことを学びました。

意見交換では、「子どもが気付いたことを言語化してあげること」「子どもたちの“なぜ?”を引き出すこと」について肥後先生からお話していただきました。



保育所では子どもたちが季節ごといろいろな遊びをし、試したり工夫したりしながら遊んでいます。子どもが自分で発見しながら遊ぶこともあれば、保育士と一緒に「どうしたらいいかな」と考えたり、試しながらヒントを出したりすることもあります。そういった遊びの中で子どもたちがつづやいたり、気付いたりしたことを大人が言葉にしてあげること、自分が考えたことや感じたことが定着していきます。また、なぜそう思ったかを大人が聞いてあげること大切です。最近、情報通信機器の普及によって対話的な経験が少なくなっています。一方的なやりとりではなく、小さい時から対話的な関わりをすると、子どもから素直に「なぜ?」が出てくるようになります。「なぜ?」が生まれると認知の進歩に繋がります。

子どもは、遊びや生活の中で様々なこと気づいたり、感じたりしています。子どもが発見したこと「どうしてそう思うの?」と尋ねると、自分なりの“答え”を考え出し自分の納得する答えを生み出そうとします。その答えは、大人から見れば間違いだらけであったとしても、自分で考え出した喜び・自分なりの感じ方や考え方を持つことで自信に繋がっていきます。幼児期に『考えることが楽しい』と思えるよう、大人との対話的な会話を大事にしたいですね。

どうやって
つなげようかな?

